





各 位

2022年2月15日

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社 代表者名 代表取締役社長 吉田 弘明 (コード番号: 2743 JASDAQ) 問合せ先 取締役管理本部 平出 晋一郎 (TEL. 03-6731-3410)

特別利益及び損失の計上並びに2021年12月期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年12月期(2021年1月1日~2021年12月31日)において、特別利益及び損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。あわせて、2020年12月期の連結業績につきまして、前期実績との間で差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

特別利益について

①個別決算

i 関係会社整理益

当社連絡子会社である海伯力国際貿易(上海)有限公司において、清算結了により、未払費用及び立替金等を含む貸倒引当金8百万円の戻入を行い、関係会社整理益として特別利益を計上いたしました。

②連結決算

ii 関係会社整理益

当社は、上記「②個別決算 i 関係会社整理益」にて記載のとおり、当社連結子会社である海伯力国際 貿易(上海)有限公司の清算結了に伴い、過年度における債権に対する清算を行ったため、関係会社整理 益として 97 百万円を計上いたしました。なお、過年度における債務に対する清算を関係会社整理損として 34 百万円を計上しているため、債権及び債務の相殺を行っており、その結果 62 百万円を関係会社整理益として、特別利益の計上しております。

特別損失について

①個別決算

i 貸倒引当金繰入

当社は、ピクセルソリューションズ株式会社(以下、「PXS」といいます。)に対する貸付金919百万円について、長期的には回収を図るものの、当該債権の回収可能性について、合理的かつ保守的に検討した結果、貸倒引当金繰入919百万円を計上いたしました。なお、個別決算で計上される当該損失は、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

②連結決算

iたな卸資産評価損

当社は、PXS における受注案件に対し受注先におけるシステム開発方針の変更が生じ、方針変更前により計上してきた仕掛品を来期以降の別途受注案件にて振替を行う予定でありますが、現時点で具体的な受注内容が定まっていないため、合理的かつ保守的に検討した結果、当該案件に対する仕掛品 109 百万円をたな卸資産評価損として処理し、特別損失を計上いたしました。

また、PXS においては当該受注案件の業務が完了しているものの、受注先による検収が未完了であり、 また、当該検収が早急には完了しないことを鑑みて、当該案件に対する仕掛品 12 百万円についてもた な卸資産評価損として処理し、特別損失を計上いたしました。

ii 貸倒引当金繰入

当社は、上記「②連結決算 i たな卸評価損」記載のとおり、PXS における案件に対し受注先による案件の方針変更及び案件に対する受注先の検収が未完了であることから、売掛金及び未収入金等にて計上していた 61 百万円を貸倒引当金繰入として計上し、特別損失を計上いたしました。

1. 2021年12月期通期連結実績と前期実績との差異

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| 前期 (2020年12月 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 期)実績(A) | 2, 352 | △299 | △313 | △942 | △35. 84 |
| 当期 (2021 年 12 月 期) 実績 (B) | 1,014 | △625 | △629 | △1, 440 | △46. 21 |
| 増減額(B−A) | △1, 337 | △325 | △315 | △497 | |
| 増減率(%) | △56. 8 | _ | _ | _ | |

2. 差異の理由

2021年12月期は、2020年より発生した新型コロナウイルス感染症により引き続き各事業会社の営業活動に影響を及ぼしております。

ディベロップメント事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により販売活動が制限されたことで、案件の獲得に時間を要すこととなりました。システムイノベーション事業においては、受託案件に同感染症が影響し、取引先の営業調整や、受注先の出社制限による発注遅延等が発生した他、受注案件に対し、受注先による方針の変更や取引先による検収が進行しなかったこと等から、たな卸資産評価損 122 百万円、貸倒引当金繰入 61 百万円を計上しております。

エンターテインメント事業においては、販売先がカジノ施設の所在する諸外国にあるため、新型コロナウイルス感染症による渡航制限により販売先への営業活動を行うに至っておりません。

その他、2021年5月17日付「特別損失の計上に関するお知らせ」にて開示のとおり、連結子会社であるピクセルエステート株式会社において、貸倒引当金繰入額455百万円及びその他特別損失9百万円を計上し、2021年11月2日付「当社連結子会社における債権取立不能及び特別損失の発生に関するお知らせ」にて開示のとおり、連結子会社であるピクセルエステート株式において、貸倒引当金250百万円を計上いたしております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「2021 年 12 月期決算短信[日本基準] (連結)」をご 参照ください。

以上